

### 魚介類の餌料生物等の放射性セシウム濃度検査結果

調査機関： 福島県水産試験場  
 調査協力機関： 国立大学法人福井大学  
 国立大学法人東京海洋大学  
 独立行政法人放射線医学総合研究所

採取年月日	場所	採取位置		水深	種名	放射性セシウム濃度 (Bq/kg-wet)					備考	
		緯度N	経度E			Cs合計	134Cs	誤差	137Cs	誤差		
○	2011/11/22	いわき	37-01.400	141-06.500	100m	多毛類	168	79	±7	89	±7	カザリコガイ科主体
○	2011/12/7	いわき	36-59.900	141-06.200	100m	多毛類	152	70	±7	82	±8	カザリコガイ科主体
○	2011/12/15	いわき	37-03.491	141-09.673	120m	多毛類	19.2	9.1	±0.9	10.1	±0.8	カザリコガイ科、フサコガイ科主体
○	2012/1/12	いわき	36-59.819	141-06.345	100m	多毛類	93	41	±4	52	±4	カザリコガイ科主体
○	2012/1/25	いわき	36-54.954	141-02.658	100m	多毛類	103.5	53	±9.1	50.5	±10.7	カザリコガイ科、フサコガイ科主体
○	2012/2/6	いわき	36-59.968	141-06.205	100m	多毛類	79.2	33.4	±8	45.8	±7	カザリコガイ科、フサコガイ科主体
○	2012/2/14	いわき	36-52.90	141-15.70	175m	多毛類	<28.5	ND	<14.5	ND	<14	ウロコムシ類
○	2012/2/16	いわき	37-00.89	141-06.23	100m	多毛類	171.5	87.2	±15.6	84.3	±16.4	カザリコガイ科主体
○	2012/2/27	いわき	37-02.53	141-09.24	122m	多毛類	<5	ND	<3	ND	<2	コガイ科
○	2012/3/14	いわき	37-03.62	141-09.64	120m	多毛類	<25.7	ND	<13.5	ND	<12.2	ウロコムシ類
○	2012/3/14	いわき	37-00.47	141-06.18	100m	多毛類	43.6	12.8	±5	30.8	±6	カザリコガイ科主体
○	2012/3/21	いわき	36-54.99	141-02.73	100m	多毛類	55.8	25.2	±4	30.6	±5	カザリコガイ科主体
○	2012/4/13	いわき	36-55.16	141-02.87	100m	多毛類	34.1	13.7	±4	20.4	±4	フサコガイ科主体
○	2012/4/13	いわき	37-00.85	141-06.33	100m	多毛類	38.7	15.1	±4	23.6	±5	カザリコガイ科主体
○	2012/4/19	いわき	37-03.74	141-09.77	120m	多毛類	<48.2	ND	<27.8	20.4	±7	カザリコガイ科、フサコガイ科主体
○	2012/5/21	いわき	37-00.08	141-06.23	100m	多毛類	22.5	ND	<9	13.5	±4	カザリコガイ科主体
○	2012/5/21	いわき	37-03.75	141-09.76	125m	多毛類	18.98	9.89	±3	9.09	±3	カザリコガイ科主体
○	2012/6/5	いわき	37-01.62	141-06.78	100m	多毛類	26.4	12.1	±2	14.3	±2	カザリコガイ科主体
○	2012/6/5	いわき	37-01.62	141-06.78	100m	多毛類	102.7	44.5	±5	58.2	±6	フサコガイ科主体
○	2012/6/12	いわき	37-03.75	141-09.76	125m	多毛類	<19	ND	<9	ND	<10	カザリコガイ科主体
○	2012/6/12	いわき	37-07.02	141-19.05	150m	多毛類	<23.8	ND	<10.7	ND	<13.1	ケリ科
○	2012/2/27	小名浜港内	36-56.54	140-54.42	10m	多毛類	<20.9	LTD	<9	11.9	±10	キボシイソメ科
○	2012/3/12	小名浜港内	36-56.54	140-54.42	10m	多毛類	<20	ND	<11	ND	<9	キボシイソメ科
○	2011/7/5	新舞子	37-02.150	141-02.650	54m	多毛類	19	9	±2	10	±2	エリマキガイ
○	2011/10/11	新舞子	37-04.030	141-03.150	53m	多毛類	13	5	±2	8	±2	ウロコムシ類
○	2011/10/25	新舞子	37-03.470	141-02.790	52m	多毛類	22	10	±2	12	±2	ウロコムシ類
○	2011/11/4	新舞子	37-04.200	141-03.000	51m	多毛類	30.3	14.5	±0.8	15.8	±0.7	ニホウコムシ
○	2012/1/25	新舞子	37-02.920	141-00.960	30m	多毛類	157.2	68.9	±6	88.3	±7	ニホウコムシ
○	2012/4/19	新舞子	37-04.16	141-02.72	48m	多毛類	<23.8	ND	<12.7	LTD	<11.1	ニホウコムシ
○	2012/4/19	新舞子	37-04.16	141-02.72	48m	多毛類	41.5	16.4	±5	25.1	±5	ニホウコムシ
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500	141-01.300	28m	キセワタガイ	154	73	±11	81	±9	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.310	140-59.370	10m	キセワタガイ	67	33	±3	34	±4	
○	2011/8/1	新舞子	37-02.650	141-00.940	30m	キセワタガイ	84	40	±1	44	±2	
○	2011/8/11	新舞子	37-02.730	141-00.930	30m	キセワタガイ	100	47	±7	53	±6	
○	2011/9/5	新舞子	37-04.400	141-01.320	29m	キセワタガイ	95	45	±3	50	±3	
○	2011/11/14	いわき	37-03.519	141-09.598	120m	ソデガイ類	18.2	7.4	±1.7	10.8	±1.5	
○	2012/3/21	小名浜	36-55.80	140-54.90	-	イボニシ	<25.7	ND	<15.3	ND	<10.4	軟体部のみ
○	2012/3/21	小名浜	36-55.80	140-54.90	-	クボガイ	33.6	11.4	±4	22.2	±5	軟体部のみ
○	2012/3/21	小名浜	36-55.80	140-54.90	-	コンダカガンガラ	30.3	15.8	±4	14.5	±4	軟体部のみ
○	2012/3/21	小名浜	36-55.80	140-54.90	-	ヒメエゾボラ	<27.9	ND	<13.8	ND	<14.1	軟体部のみ
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500	141-01.300	28m	マユツクリガイ	<32	LTD	<16.5	15.5	±5	軟体部のみ
○	2011/8/11	新舞子	37-02.260	141-02.600	50m	マユツクリガイ	<26.2	ND	<12.3	ND	<13.9	軟体部のみ
○	2011/7/6	小名浜	36-56.60	140-56.70	25m	プランクトン類 (注1)	669	316	-	353	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2011/10/18	小名浜	36-52.00	141-00.00	60m	プランクトン類 (注1)	8	4	-	4	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/1/17	小名浜	36-56.00	(注3)	20~120m	プランクトン類	50	20	-	30	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/1/31	小名浜	36-55.00	(注3)	12~97m	プランクトン類	61	28	-	33	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/8	小名浜	36-54.90	(注3)	25~145m	プランクトン類	31.81	12.8	-	19.01	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/16	小名浜	36-54.90	(注3)	12~96m	プランクトン類	<10	9	-	ND	<1	-330μmメッシュのネット使用
○	2011/7/2	新舞子	37-01.0	140-59.5	21m	プランクトン類 (注1)	217	105	-	112	-	-100μmメッシュのネット使用
○	2011/7/2	新舞子	37-01.0	140-59.5	21m	プランクトン類 (注1)	297	137	-	160	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2011/11/1	新舞子	37-04.5	141-09.3	26m	プランクトン類	69	32	-	37	-	-100μmメッシュのネット使用
○	2011/12/20	新舞子	37-06.63	141-01.04	29m	プランクトン類	34	16	-	19	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/1/16	新舞子	37-04.57	141-01.31	29m	プランクトン類	26	11	-	14	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/22	新舞子	37-04.25	141-01.22	30m	プランクトン類	8	3	-	5	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/3/14	新舞子	37-03.84	141-01.22	30m	プランクトン類	87	37	-	50	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/4/10	新舞子	37-04.77	141-01.48	30m	プランクトン類	7	3	-	4	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/1/27	相馬	37-47.90	(注3)	10~37m	プランクトン類	98	43	-	55	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/22	相馬	37-47.90	(注3)	43~65m	プランクトン類	<2	ND	<1	ND	<1	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/4/25	相馬	37-50.00	141-06.00	28m	プランクトン類	53.7	22.2	-	31.5	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/4/25	相馬	37-50.00	141-36.00	140m	プランクトン類	<0.4	ND	<0.2	ND	<0.2	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/4/25	相馬	37-50.00	142-00.00	497m	プランクトン類	0.97	0.48	-	0.49	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/9	豊間	36-58.90	(注3)	12~18m	プランクトン類	<2	ND	<1	ND	<1	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/2/16	豊間	36-58.90	(注3)	11~32m	プランクトン類	22.1	9	-	13.1	-	-330μmメッシュのネット使用
○	2012/4/10	菊多浦	36-53.10	140-47.99	7m	アミ類	15.08	5.11	±7	9.97	±8	ミツクリハマアミ主体
○	2011/7/14	新舞子	37-05.000	140-59.160	7m	アミ類	50.5	24.1	±0.4	26.4	±0.6	
○	2011/8/17	新舞子	37-04.970	140-59.310	7m	アミ類	88	41.3	±0.5	46.7	±0.7	
○	2011/9/5	新舞子	37-05.140	140-59.930	10m	アミ類	65.8	31	±0.5	34.8	±0.7	
○	2012/3/26	新舞子	37-04.35	140-59.03	8m	アミ類	<22.9	ND	<12.8	ND	<10.1	
○	2012/4/25	相馬	37-48.00	141-00.40	7m	アミ類	7.67	3.4	±0.63	4.27	±0.62	ミツクリハマアミ主体
○	2012/2/22	相馬	37-47.67	141-10.14	39m	ツノナシオキアミ	<17	ND	<9	ND	<8	
○	2012/2/29	相馬	37-48.13	141-15.02	56m	ツノナシオキアミ	<10	ND	<5	ND	<5	
○	2012/3/26	いわき	36-56.52	140-58.26	24m	ヨコエビ類	<4	ND	<2	ND	<2	浮遊性ヨコエビ (イカナゴに混獲)
○	2011/11/10	いわき	36-59.970	141-06.231	100m	エビジャコ類	<7.5	3.5	±0.7	<4		
○	2011/12/7	いわき	36-59.900	141-06.200	100m	エビジャコ類	<17	7	±2	ND	<10	
○	2012/2/6	いわき	36-59.968	141-06.205	100m	エビジャコ類	<33.3	ND	<17.1	ND	<16.2	
○	2012/3/21	いわき	36-54.99	141-02.73	100m	エビジャコ類	<20	ND	<10	ND	<10	
○	2011/7/5	新舞子	37-05.250	140-59.860	11m	エビジャコ類	73	33	±2	40	±4	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.310	140-59.370	10m	エビジャコ類	103	45	±4	58	±7	
○	2011/9/5	新舞子	37-04.400	141-01.320	29m	エビジャコ類	26	12	±3	14	±5	
○	2011/10/18	新舞子	37-03.000	141-01.000	30m	エビジャコ類	27	11	±2	16	±4	
○	2011/10/25	新舞子	37-02.990	141-00.980	31m	エビジャコ類	<14	ND	<4	ND	<10	
○	2011/11/4	新舞子	37-02.790	140-59.440	10m	エビジャコ類	<15	ND	<4	ND	<11	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400	141-00.240	19m	エビジャコ類	20	11	±1	9	±3	
○	2011/12/8	新舞子	37-05.180	140-59.810	11m	エビジャコ類	33	15	±2	18	±4	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390	141-00.350	22m	エビジャコ類	28	11	±1	17	±3	
○	2012/1/26	新舞子	3									

採取年月日	場所	採取位置		水深	種名	放射性セシウム濃度 (Bq/kg-wet)					備考
		緯度N	経度E			Cs合計	134Cs	誤差	137Cs	誤差	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500 141-01.300	28m	キシエビ	61	28	±3	33	±3	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500 141-01.300	28m	キシエビ	42.5	19.3	±2	23.2	±2	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	キシエビ	119	57	±3	62	±4	
○	2011/8/1	新舞子	37-02.650 141-00.940	30m	キシエビ	63	31.5	±2	31.5	±2	
○	2011/8/11	新舞子	37-03.040 140-59.840	29m	キシエビ	45	23	±3	22	±3	
○	2011/9/5	新舞子	37-02.9 141-00.9	30m	キシエビ (注2)	55	29	-	26	-	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-00.240	19m	キシエビ	28	13	±2	15	±2	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.200 141-03.000	51m	キシエビ	13	6	±1	7	±2	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	キシエビ	50	22	±2	28	±2	
○	2012/1/16	新舞子	37-13.080 141-05.610	50m	キシエビ	20	9	±2	11	±3	
○	2012/1/26	新舞子	37-03.440 141-00.035	20m	キシエビ	33.6	13.7	±4	19.9	±4	
○	2012/2/27	新舞子	37-03.44 141-00.33	20m	キシエビ	52.2	24.4	±11	27.8	±10	
○	2012/4/19	新舞子	37-04.53 141-01.37	30m	キシエビ	<18.2	ND	<9	ND	<9.2	
○	2011/9/5	菊多浦	36-53.000 140-48.100	12m	サルエビ	34	17	±3	17	±2	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.3 140-59.3	10m	サルエビ (注2)	170	81	-	89	-	
○	2011/11/4	新舞子	37-02.790 140-59.440	10m	サルエビ	14	5	±1	9	±2	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-00.240	19m	サルエビ	24.8	10.8	±0.7	14	±2	
○	2011/12/8	新舞子	37-05.180 140-59.810	11m	サルエビ	30	13	±2	17	±5	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	サルエビ	28	12	±2	16	±3	
○	2011/8/3	相馬沖	37-47.4 140-59.6	7m	サルエビ (注2)	85	43	-	42	-	
○	2011/8/17	菊多浦	37-05.000 140-59.160	7m	サメハダヘイケガニ	28	15	±2	13	±3	
○	2011/8/17	菊多浦	37-05.000 140-59.160	7m	サメハダヘイケガニ	<20.9	LTD	<10.9	LTD	<10	
○	2011/9/5	菊多浦	36-53.200 140-48.200	10m	サメハダヘイケガニ	35	16	±3	19	±3	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.460 141-00.360	20m	サメハダヘイケガニ	52	27	±3	25	±3	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	サメハダヘイケガニ	105	50	±2	55	±3	
○	2011/9/5	新舞子	37-04.400 141-01.320	29m	サメハダヘイケガニ	46.6	18	±6	28.6	±5	
○	2011/11/4	新舞子	37-02.790 140-59.440	10m	サメハダヘイケガニ	53	24	±2	29	±3	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-00.240	19m	サメハダヘイケガニ	68.8	28.3	±15	40.5	±16	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-01.280	29m	サメハダヘイケガニ	53.7	19	±13	34.7	±9	
○	2011/12/8	新舞子	37-05.180 140-59.810	11m	サメハダヘイケガニ	84	42	±3	42	±6	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	サメハダヘイケガニ	137	60	±3	77	±6	
○	2012/1/25	新舞子	37-02.920 141-00.960	30m	サメハダヘイケガニ	45.3	19	±10	26.3	±11	
○	2012/1/25	新舞子	37-02.920 141-00.960	30m	サメハダヘイケガニ	<21.7	ND	<10	11.7	±4	
○	2012/1/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	サメハダヘイケガニ	81.9	36.6	±6	45.3	±6	
○	2012/2/27	新舞子	37-04.31 140-59.37	10m	サメハダヘイケガニ	56.6	26.6	±7	30	±6	
○	2012/3/14	新舞子	37-05.15 140-59.87	10m	サメハダヘイケガニ	61.8	25.7	±2	36.1	±2	
○	2012/4/19	新舞子	37-05.29 140-59.94	12m	サメハダヘイケガニ	35.2	14.2	±4	21	±5	
○	2012/4/19	新舞子	37-04.28 141-00.35	21m	サメハダヘイケガニ	<24.3	ND	<10.6	13.7	±4	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.460 141-00.360	20m	イボイチョウガニ	114.1	72.1	±10	42	±6	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500 141-01.300	28m	イボイチョウガニ	56	28	±2	28	±2	
○	2011/7/5	新舞子	37-02.150 141-02.650	54m	イボイチョウガニ	53	25	±3	28	±4	
○	2012/2/27	新舞子	37-03.55 141-02.85	50m	イボイチョウガニ	52	20	±10	32	±9	
○	2012/4/19	新舞子	37-04.16 141-02.72	48m	イボイチョウガニ	16.3	6.2	±2	10.1	±2	
○	2012/4/19	新舞子	37-04.16 141-02.72	48m	イボイチョウガニ	<21.9	12.1	±3	LTD	<9.8	
○	2012/5/28	新舞子	37-03.10 141-02.65	50m	イボイチョウガニ	<15	ND	<7	ND	<8	
○	2012/3/26	広野	37-13.08 141-05.61	50m	イボイチョウガニ	<18	ND	<9	ND	<9	
○	2011/7/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	ヒラコブシ	53	26	±2	27	±4	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-00.240	19m	ヒラコブシ	31	13	±2	18	±5	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.400 141-00.240	19m	ヒラコブシ	21.7	10.4	±3	11.3	±3	
○	2011/12/8	新舞子	37-05.180 140-59.810	11m	ヒラコブシ	19.4	8.4	±2	11	±0.6	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	ヒラコブシ	<20	ND	<11	ND	<9	
○	2012/1/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	ヒラコブシ	<23.1	ND	<11.3	11.8	±4	
○	2012/2/27	新舞子	37-03.44 141-00.33	20m	ヒラコブシ	28	10	±5	18	±5	
○	2012/4/19	新舞子	37-05.29 140-59.94	12m	ヒラコブシ	<19	ND	<10	ND	<9	
○	2012/1/26	新舞子	37-04.310 140-59.370	10m	ヒラツメガニ	<31.1	ND	<19.8	11.3	±4	
○	2011/11/14	いわき	36-59.970 141-06.231	100m	ケブカエンコウガニ	<22	ND	<12	ND	<10	
○	2011/12/15	いわき	37-03.491 141-09.673	120m	マメヘイケガニ	<20	ND	<11	ND	<9	
○	2011/9/5	菊多浦	36-53.200 140-48.200	10m	ヤドカリ類	<26	14	±3	ND	<12	
○	2011/9/5	菊多浦	36-52.970 140-48.140	12m	ヤドカリ類	<36.2	22	±7	LTD	<14.2	
○	2011/9/5	菊多浦	36-52.900 140-48.500	15m	ヤドカリ類	<19.8	ND	<9	LTD	<10.8	
○	2011/7/5	新舞子	37-02.150 141-02.650	54m	オホーツクホンヤドカリ	70	35	±2	35	±2	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.460 141-00.360	20m	ヤドカリ類	21	11	±2	10	±2	
○	2011/7/5	新舞子	37-04.500 141-01.300	28m	ヤドカリ類	<23.9	ND	<13.8	10.1	±4	
○	2011/8/1	新舞子	37-02.650 141-00.940	30m	ヤドカリ類	<33.9	20.9	±7	LTD	<13.0	
○	2011/9/5	新舞子	37-04.400 141-01.320	29m	ヤドカリ類	30.8	14.1	±5	16.7	±4	
○	2011/11/4	新舞子	37-02.790 140-59.440	10m	ヤドカリ類	26	10	±2	16	±4	
○	2011/11/9	新舞子	37-03.40 141-00.35	20m	ヤドカリ類	25.6	11.6	±4	14	±4	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	オホーツクホンヤドカリ	23	11	±2	12	±4	
○	2011/12/20	新舞子	37-04.210 141-01.190	29m	オホーツクホンヤドカリ	<17	ND	<9	ND	<8	
○	2012/1/25	新舞子	37-02.920 141-00.960	30m	オホーツクホンヤドカリ	<22.3	ND	<11.5	10.8	±4	
○	2012/2/27	新舞子	37-03.44 141-00.33	20m	オホーツクホンヤドカリ	<32.6	ND	<10.8	21.8	±4	
○	2012/2/27	新舞子	37-02.92 141-00.96	30m	オホーツクホンヤドカリ	<17	ND	<9	ND	<8	
○	2012/3/14	新舞子	37-04.40 141-01.26	29m	オホーツクホンヤドカリ	<16.7	ND	<8.1	ND	<8.6	
○	2011/8/3	相馬	37-49.720 141-14.940	50m	オホーツクホンヤドカリ	<20.4	ND	<12.4	ND	<8	
○	2011/12/7	原町沖	37-36.600 141-12.480	50m	オホーツクホンヤドカリ	<18	ND	<10	ND	<8	
○	2012/4/6	広野	37-13.08 141-05.61	50m	オホーツクホンヤドカリ	<29.8	ND	<16.6	ND	<13.2	
○	2011/9/5	菊多浦	36-52.970 140-48.140	12m	ニベ	16	8	±2	8	±2	
○	2011/10/25	新舞子	37-03.160 140-59.920	21m	ニベ	31	15	±2	16	±2	
○	2011/12/8	新舞子	37-04.390 141-00.350	22m	ニベ	34	15	±2	19	±2	
○	2011/10/25	新舞子	37-04.130 140-59.160	11m	シログチ	41	20	±4	21	±3	
○	2012/2/16	いわき	37-00.89 141-06.23	100m	シログチ	<11.5	ND	<5	6.5	±4	
○	2011/9/5	菊多浦	36-52.900 140-48.500	15m	マアジ	38	19	±3	19	±3	
○	2011/10/19	いわき	37-00.000 141-06.200	100m	エゾイソアイナメ	24	13	±3	11	±3	
○	2011/10/24	いわき	37-00.000 141-06.300	100m	エゾイソアイナメ	22	12	±2	10	±2	
○	2011/12/15	いわき	37-03.491 141-09.673	120m	エゾイソアイナメ	14	7	±2	7	±2	
○	2012/2/16	いわき	37-00.89 141-06.23	100m	エゾイソアイナメ	<9.7	4.7	±4	LTD	<5	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.200 141-03.000	51m	ネズツボ科 spp	18	9	±2	9	±1	
○	2011/11/4	新舞子	37-04.200 141-03.000	51m	タマガンゾウビラメ	65	33	±3	32	±3	
○	2012/4/13	いわき	36-55.16 141-02.87	100m	サラサガジ	51.3	20.2	±4	31.1	±5	
○	2012/4/6	広野	37-13.08 141-05.61	50m	マツカジカ	53.1	18.5	±4	34.6	±5	
○	2012/2/15	相馬	37-36.00 141-19.00	100m	マダラ	<10.5	ND	<4	6.5	±4.4	マダラ当歳魚 (通称: 水タラ)
○	2011/10/25	新舞子	37-02.990 141-00.980	31m	ヒメジ	29	14	±2	15	±2	
○	2011/10/25	新舞子	37-03.470								

採取年月日	場所	採取位置		水深	種名	放射性セシウム濃度 (Bq/kg-wet)				備考	
		緯度N	経度E			Cs合計	134Cs	誤差	137Cs		誤差
2011/11/14	いわき	37-03.519	141-09.598	120m	ホンブク	156.5	72	±8	84.5	±7	
2011/12/15	いわき	37-03.491	141-09.673	120m	オカメブク	66.5	29.1	±5	37.4	±5	
2012/1/12	いわき	37-03.352	141-09.810	120m	オカメブク	100	47.7	±6	52.3	±6	
2012/4/19	いわき	37-03.74	141-09.77	120m	ホンブク	45.1	18.3	±4	26.8	±5	
2012/6/12	いわき	37-03.75	141-09.76	125m	オカメブク	31.5	14.7	±4	16.8	±4	
2012/6/12	いわき	37-03.75	141-09.76	125m	オカメブク生殖腺	<17.1	ND	<8	ND	<9.1	
2011/10/11	新舞子	37-04.030	141-03.150	53m	バフンウニ類	31.3	14.3	±4	17	±4	
2012/5/24	いわき	37-07.38	141-19.19	150m	ツガルウニ	<20.3	ND	<9	11.3	±4	
2012/6/12	いわき	37-07.02	141-19.05	150m	ツガルウニ	39.5	14.8	±4	24.7	±4	
2011/10/11	新舞子	37-04.030	141-03.150	53m	ツガルウニ	37.7	18.6	±4	19.1	±4	
2011/12/21	新舞子	37-03.77	141-02.88	53m	ツガルウニ	52.9	26.5	±4	26.4	±5	
2012/4/19	新舞子	37-04.16	141-02.72	48m	ツガルウニ	57.7	27.2	±5	30.5	±5	
2011/10/14	相馬	37-49.740	141-14.940	50m	ツガルウニ	<19.6	ND	<10.7	ND	<8.9	
2012/2/22	相馬	37-49.72	141-14.94	50m	ツガルウニ	44.5	11.6	±5	32.9	±5	
2012/3/23	相馬	37-52.71	141-14.94	50m	ツガルウニ	<17	ND	<9	ND	<8	
2012/4/18	相馬	37-49.72	141-14.94	50m	ツガルウニ	<20	LTD	<10	LTD	<10	
2012/5/25	相馬	37-49.72	141-14.94	50m	ツガルウニ	<17	ND	<8	9	±3	
2011/11/10	原町	37-36.59	141-12.49	50m	ツガルウニ	<20	ND	<10	ND	<10	
2012/1/19	原町	37-37.570	141-12.470	50m	ツガルウニ	45.5	23.4	±9.7	22.1	±8.7	
2012/2/21	原町	37-36.59	141-12.49	50m	ツガルウニ	<21.9	ND	<10	11.9	±4	
2012/4/17	原町	37-37.570	141-12.470	50m	ツガルウニ	194	84	±8	110	±8	
2011/10/17	広野	37-12.620	141-05.520	50m	ツガルウニ	81	45	±5	36	±5	
2012/2/9	広野	37-13.08	141-05.61	50m	ツガルウニ	235	105	±7	130	±8	
2012/4/6	広野	37-13.08	141-05.61	50m	ツガルウニ	92.7	37.8	±14	54.9	±6	
2012/5/9	広野	37-13.00	141-05.60	50m	ツガルウニ	113.8	52.1	±6	61.7	±6	
2012/6/6	広野	37-12.62	141-05.52	50m	ツガルウニ	51.5	20.7	±4	30.8	±5	

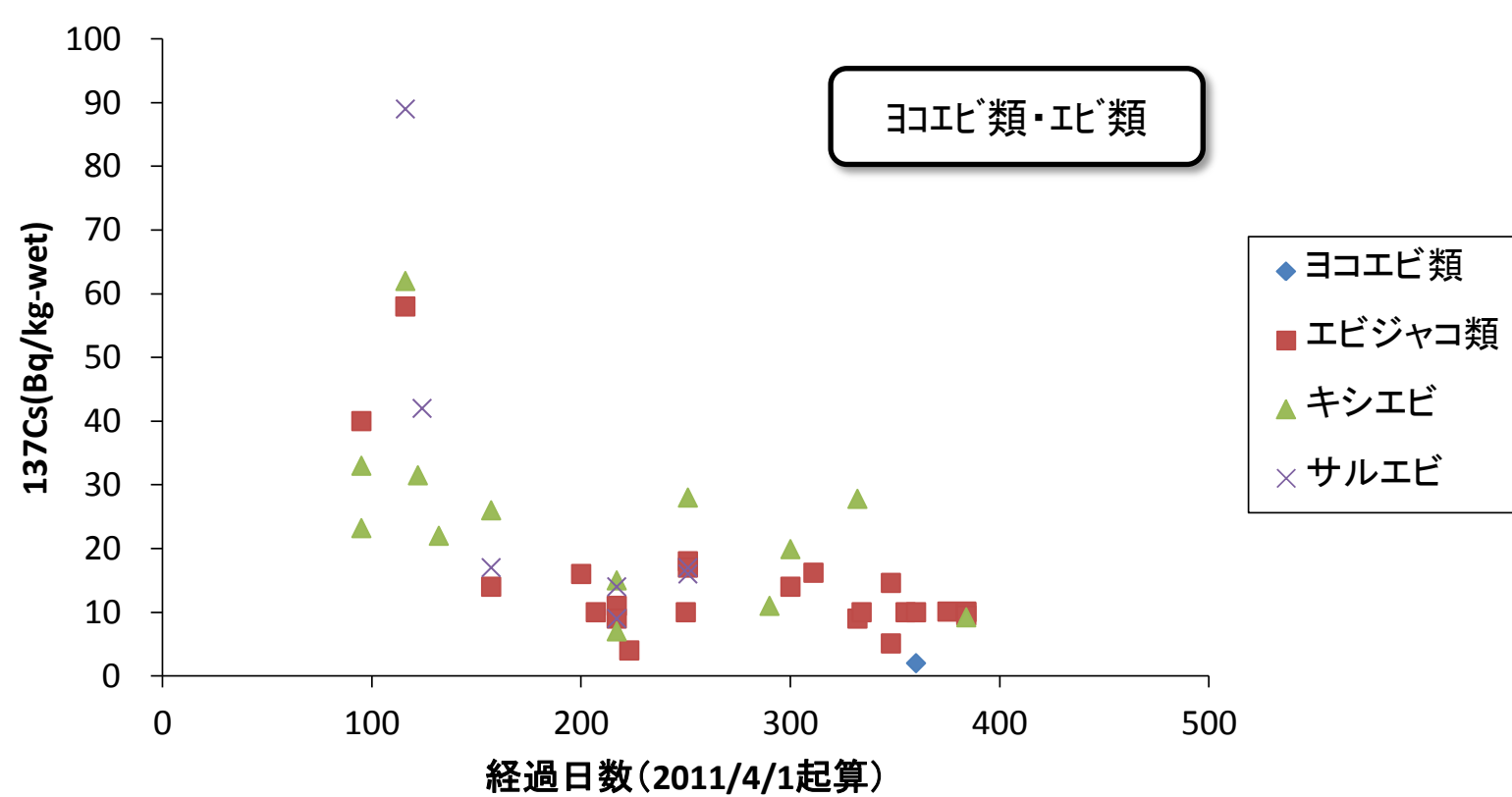
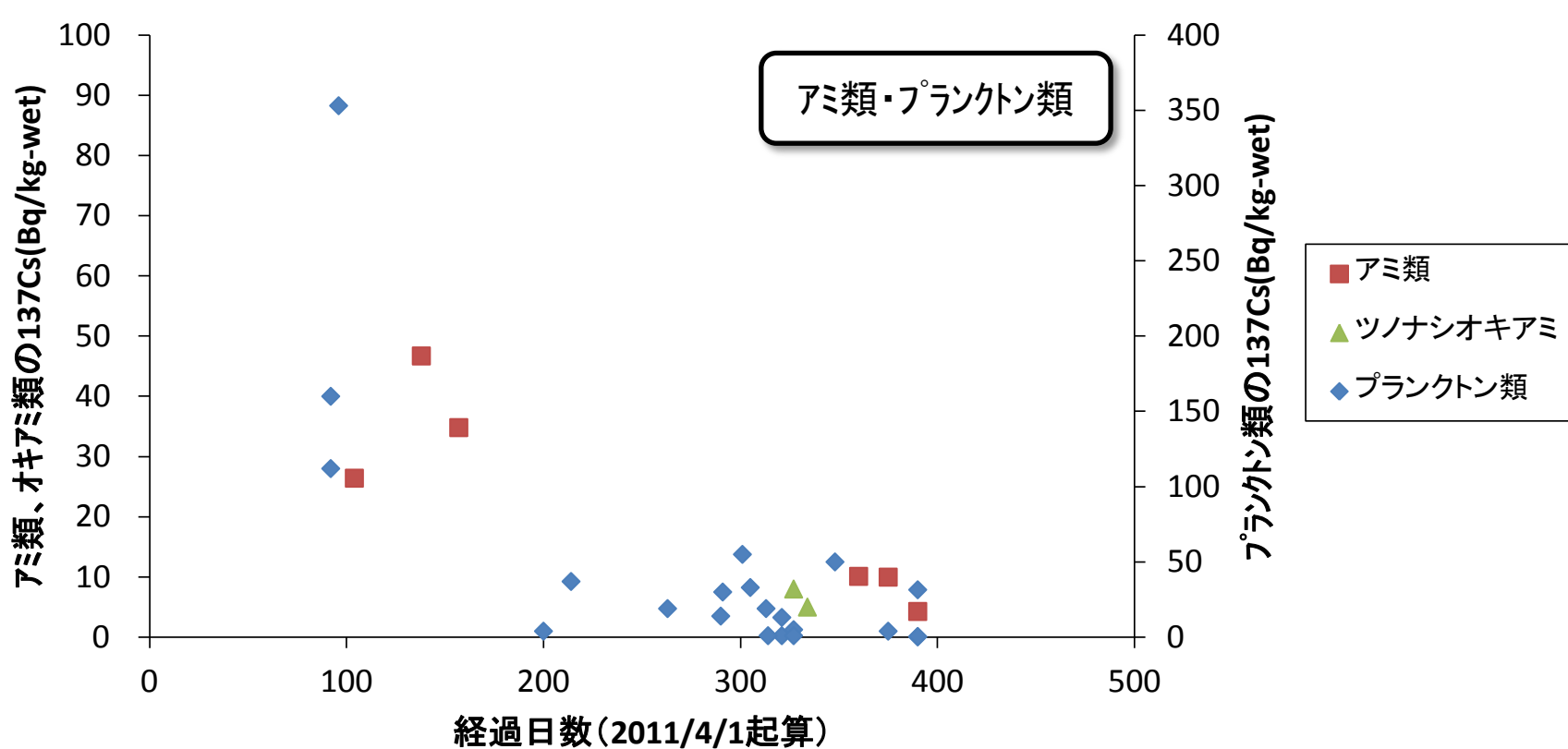
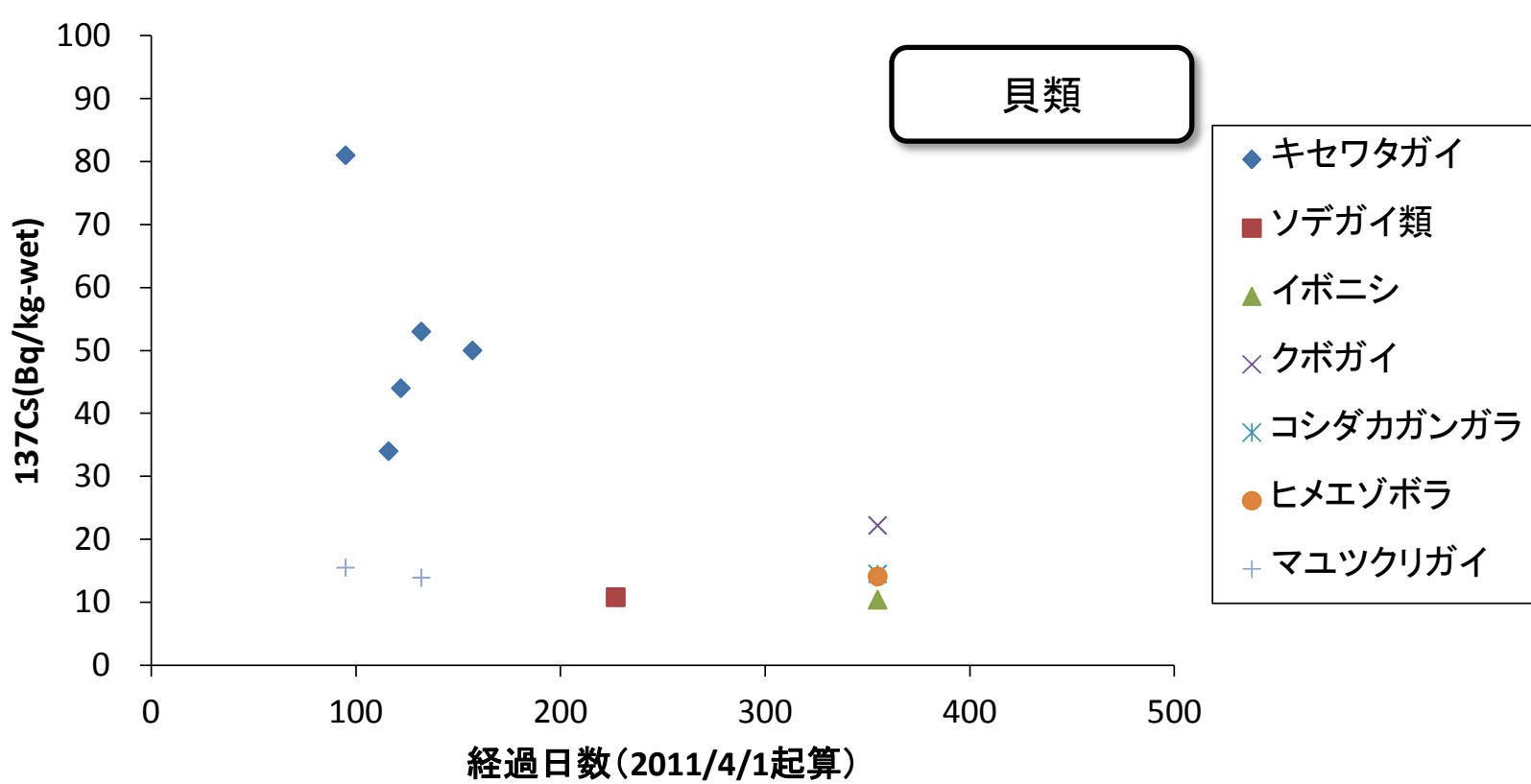
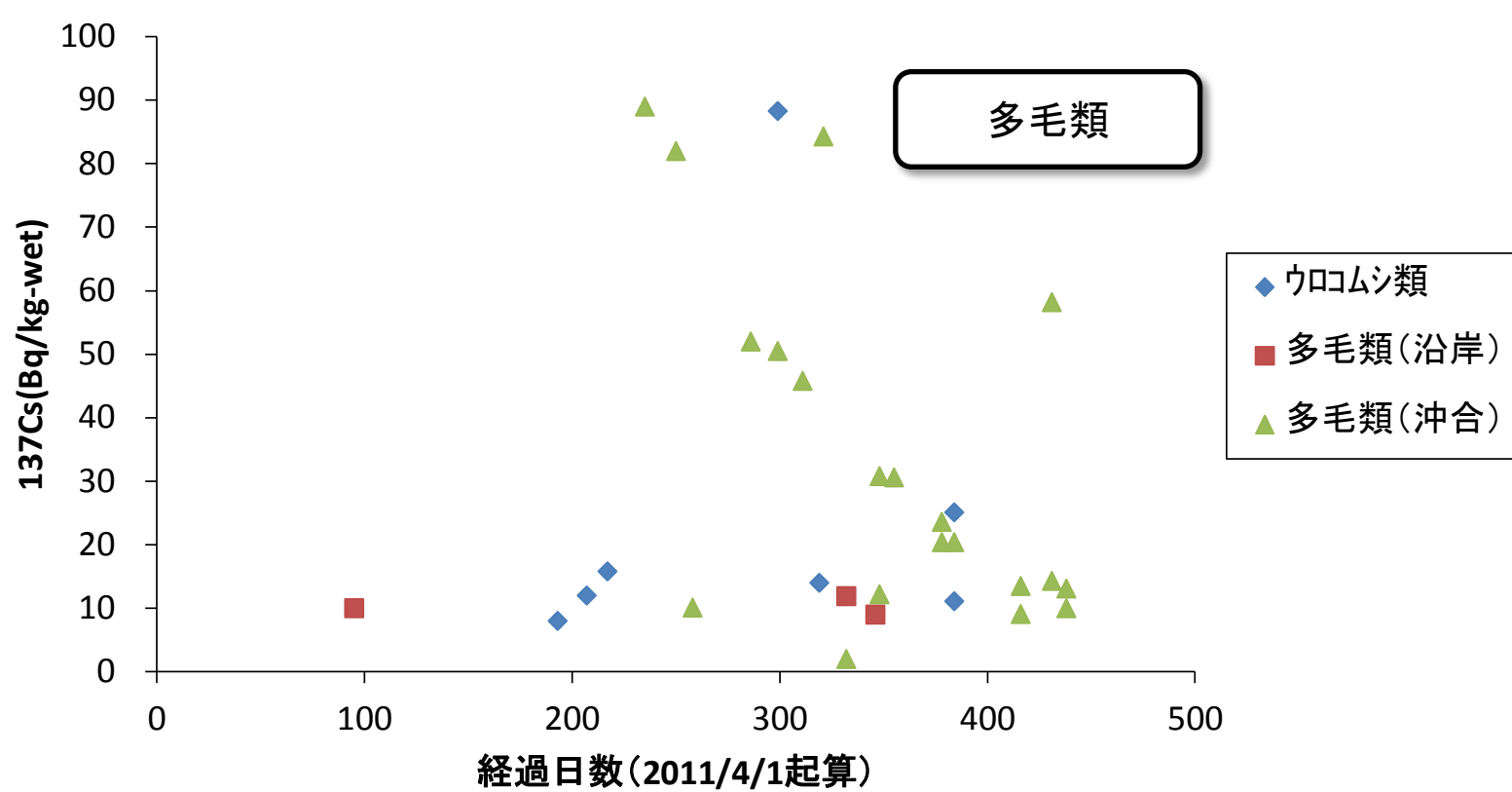
注1は東京海洋大調査、注2は緊急時モニタリング検査での測定。注3は、同一緯度における複数の定点サンプルを混合したため、水深範囲のみの表記とした。  
 ※ ND（検出限界以下）及びLTD（検出あり）のサンプルにおけるCs合計値は、検出限界値の放射能であったものとして計算し、不等号（<）付きで示した。  
 ※ プランクトン類は、ネット入網物を全てサンプルとして測定。  
 ※ Csの誤差で-表記のものは、現在確認中。  
 ※ 表枠外の○印：前回までに公表済みのデータ。  
 ※ 備考で注記のないものは、対象種の体全部を試料とした。

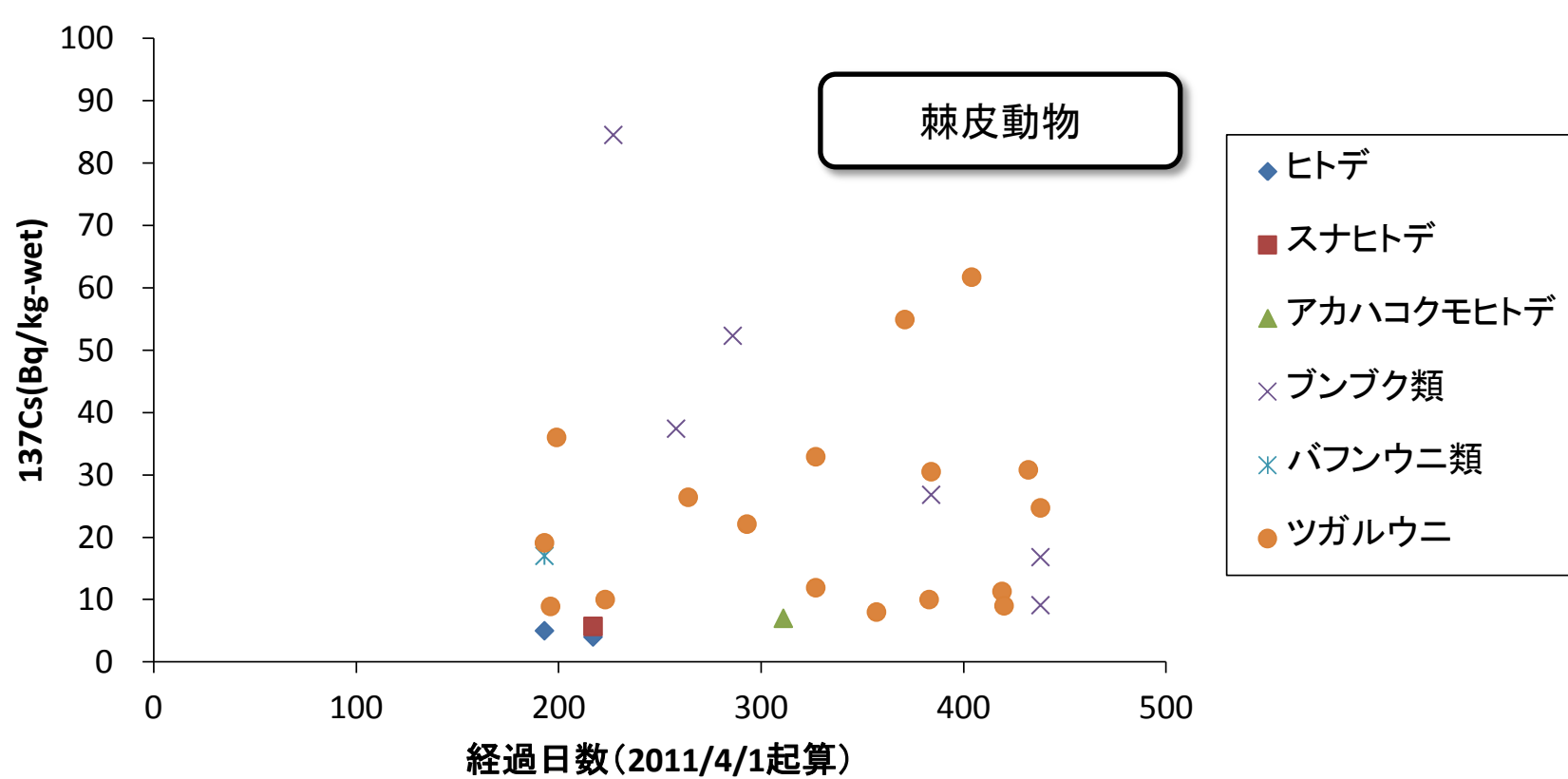
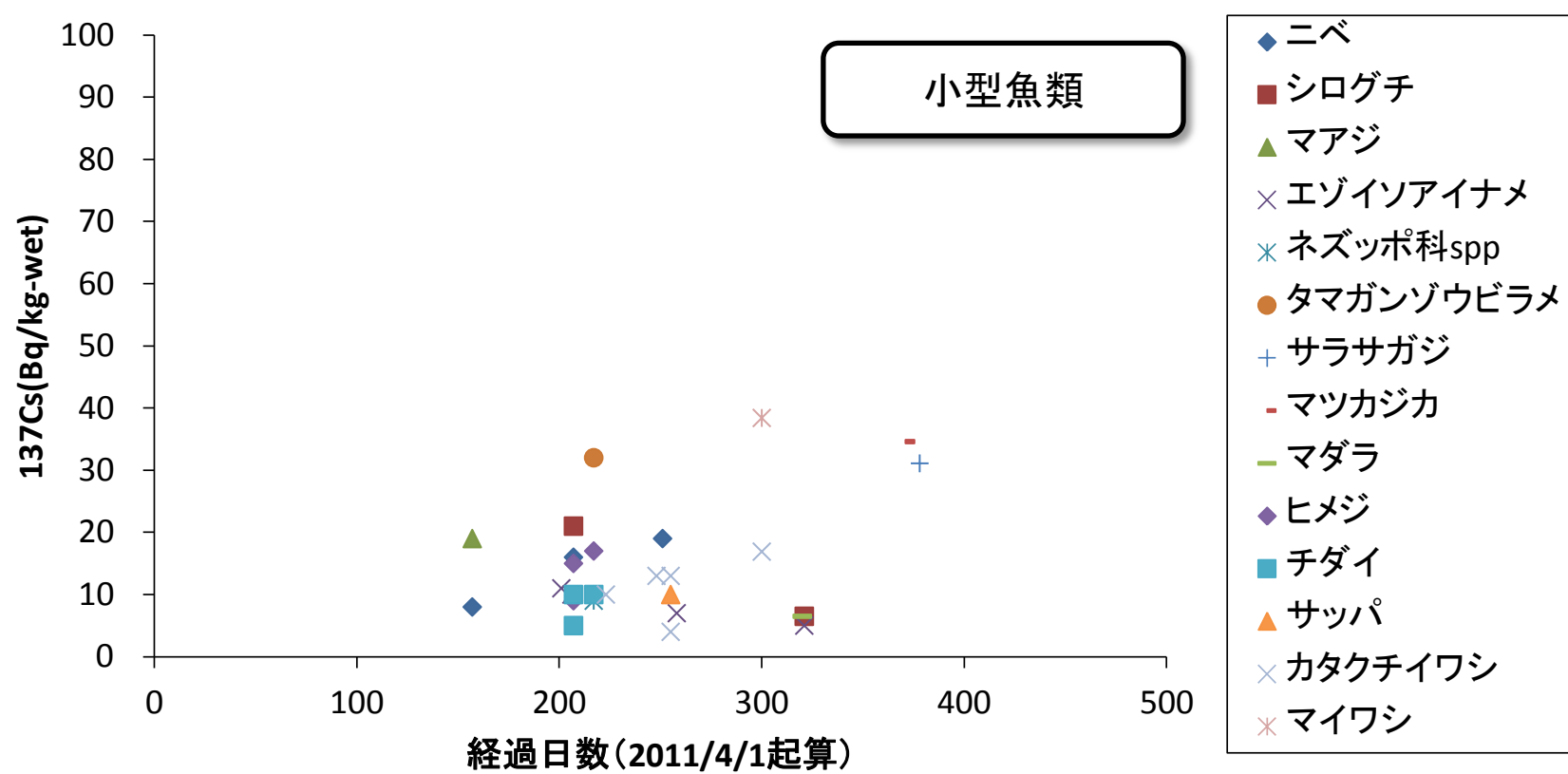
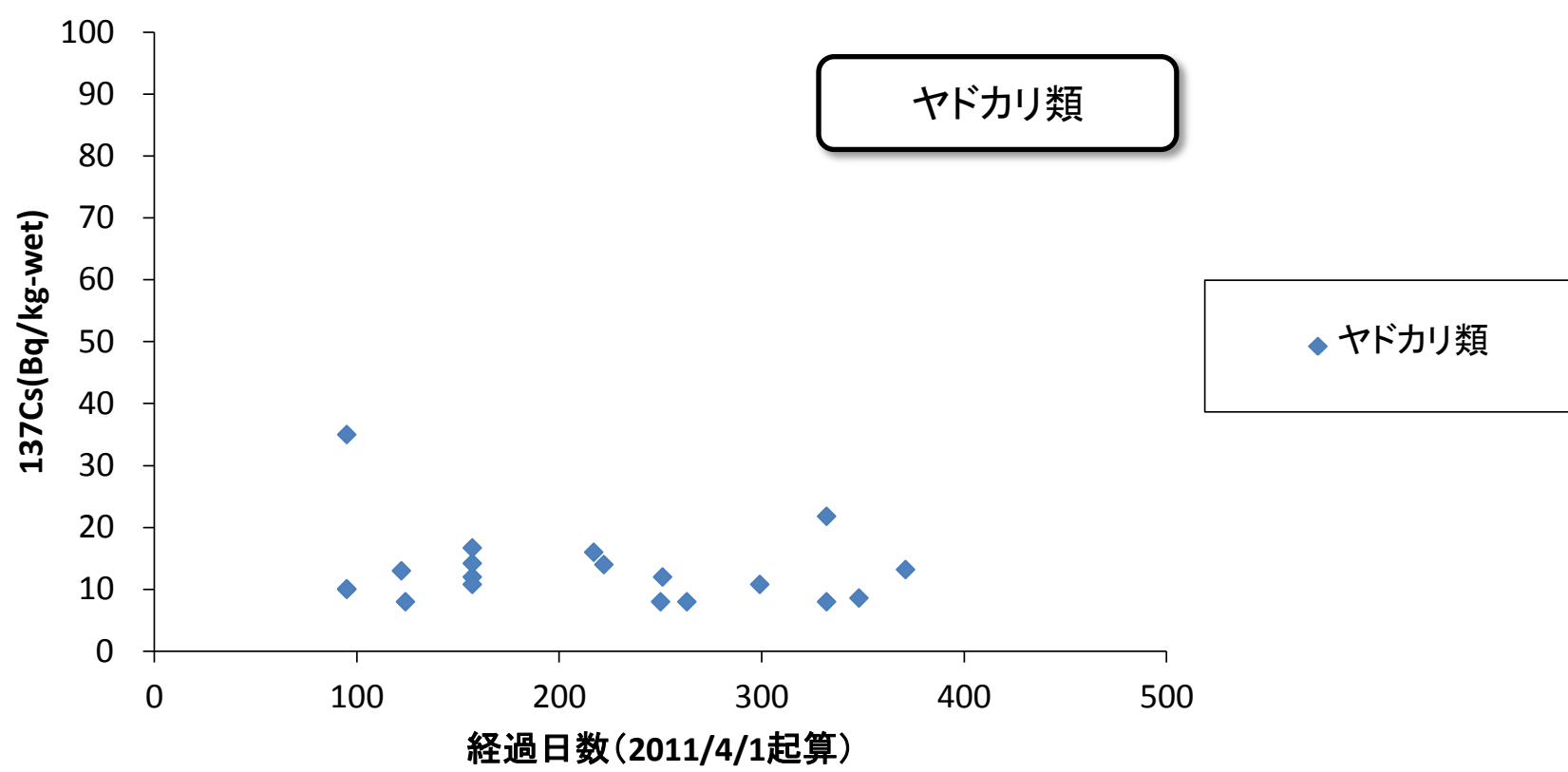
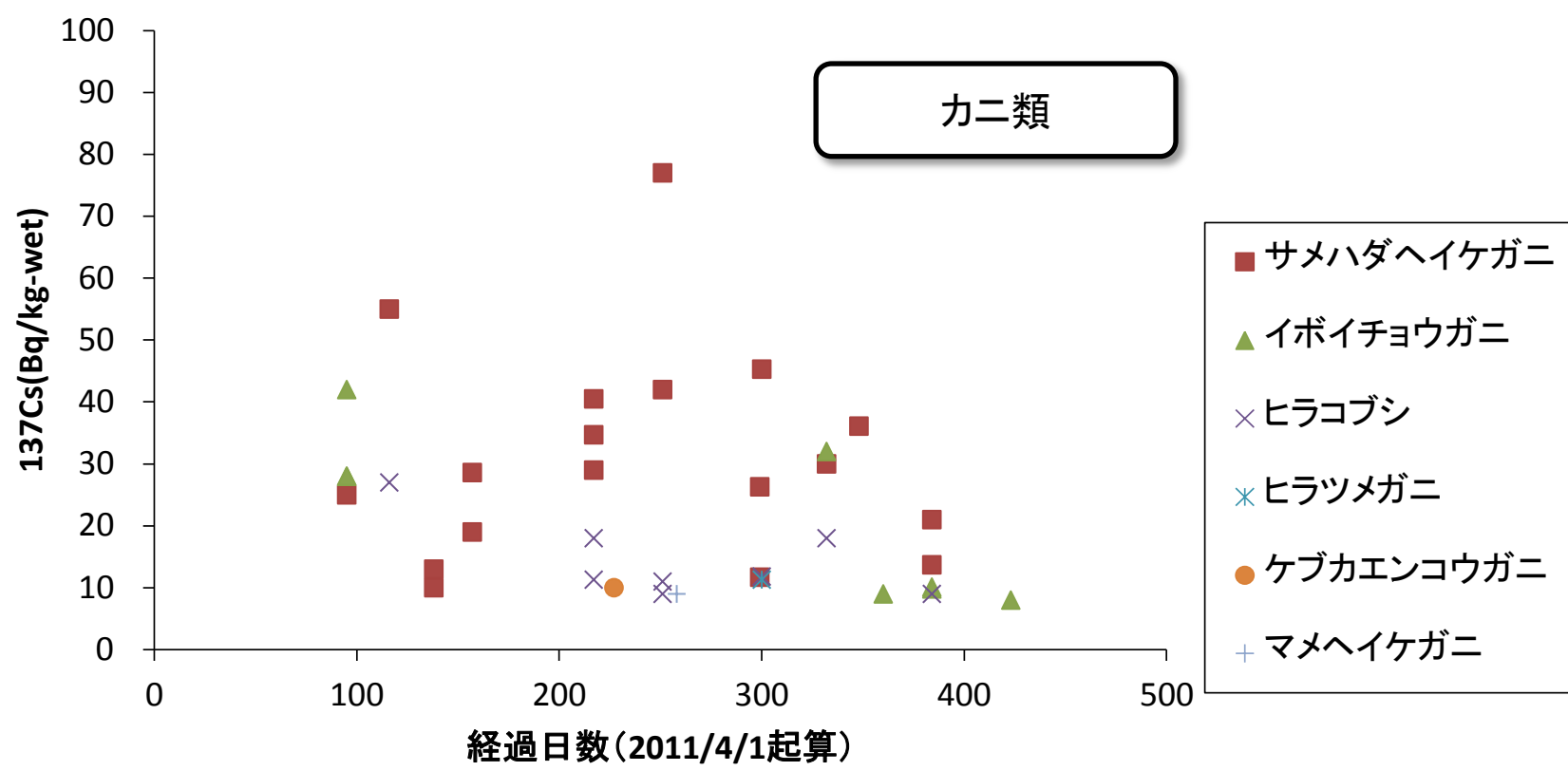
○これまでの調査では、餌料生物等の放射性セシウムの濃度は、明瞭ではないものの、多くの餌料生物で時間経過とともに減少している傾向です。

○時間経過に伴う減少傾向が比較的明瞭にみられるのは、プランクトン類、アミ類、エビジャコ類（エビ類）、ブク類（棘皮動物）のほか、前回公表時に高めの値であった沖合（水深100m）の多毛類です。

○しかしながら、沿岸（水深10～22m）のサメハダヘイケガニや、ツガルウニ（水深50m以深に分布するウニ類）などで、低下しているとは言えない結果です。

○今後も、これらの餌料生物の調査を継続していくとともに、採集海域の違いや、捕食者である魚介類の放射性セシウム濃度との関係などに注目しながら解析を進めてまいります。







# 補足資料

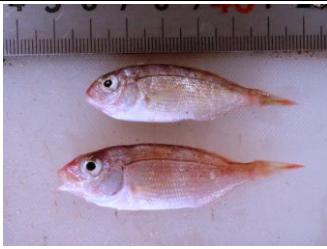
参考文献: 北日本魚類大図鑑(北日本海洋センター)、新日本動物図鑑(北隆館)

餌生物の種名	説明	餌とする魚種 (緊急時モニタリング検査サンプルの胃から出現した魚種)
多毛類	 海底土に棲息する環形動物の1グループ。サンプルはカザリゴカイ科、ナナテイスメ科、ギボシイソメ科等から成る。	ヤナギムシガレイ、マコガレイ、マガレイ、ババガレイ等33魚種。ここに例示した魚種では多毛類が主餌料となっている。
多毛類(エリマキゴカイ)	 沿岸性のヤドカリ(オホーツクホンヤドカリ)の貝殻に共生する環形動物の一種。比較的大型で、全長10~15cm程度。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。捕食者については不明。
多毛類(ウロコムシ類)	 海底表面に棲息する環形動物の一種。サンプルはニホンウロコムシが主体。	アイナメ、ホウボウ、インガレイ、エゾイソアイナメ等7魚種。
キセワタガイ科	 沿岸に棲息する肉食性巻貝の一種。	マコガレイ、マガレイ、カナガシラ等11魚種。
ソデガイ類(ナガソデガイ)	 比較的沖合(水深100m以深)に棲息する二枚貝。	ミギガレイの1魚種。
クボガイ、コシダカガンガラ	 サンプルは殻高25mm前後。日本沿岸の潮間帯に棲息する巻貝。食用にもなる。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。
イボニシ	 サンプルは殻高35mm前後。北海道南部以南の潮間帯に棲息する肉食性の巻貝。福島沿岸では「カラシナンコ」と呼ばれ、食用にもなる。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。
ヒメエゾボラ	 サンプルは殻高60~80mm前後。本州の潮間帯~浅海域に分布する肉食性の巻貝。食用にもなる。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。
マユツクリガイ	 サンプルは殻高30~40mm。北海道南部以南の水深20~100mの砂泥底に棲息する巻貝。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。

餌生物の種名		説明	餌とする魚種 (緊急時モニタリング検査サンプルの胃から出現した魚種)
プランクトン類	(写真なし)	サンプルは、100μ m～330μ mのプランクトンネットの曳網による入網物を用いた。入網物の中には、プランクトン以外の有機物・無機物が含まれている場合がある。	緊急時モニタリング検査サンプルでは、プランクトン食性の魚類について胃内容物査定を行っていないが、主要な浮魚類(マイワシ、カタクチイワシなど)、イカナゴが捕食するなど、主要な餌料である。
アミ類		沿岸域に棲息する大型動物プランクトンの一種。サンプルは浅海域に生息するミツクリハマアミが主体であり、特に福島県ではヒラメの当歳魚(主に10cm未満)の主要餌料として知られている。	ヒラメ、マアジ、ウスメバル、ニベ、シロメバル等21魚種。小型のヒラメとシロメバルでアミ類への依存度が比較的高かった。
オキアミ類(ツノナシオキアミ)	(写真なし)	北海道～三陸・常磐海域の沿岸～沖合に広く分布する大型動物プランクトンの一種。福島県では春期に水深150m以浅に分布し、漁獲対象となる。沖合の底魚にとって重要な餌生物のひとつ。	マダラ、スケトウダラ、エゾイソアイナメ、アオメエソ、マガレイ、ミギガレイ等13種。
ヨコエビ類	(写真なし)	サンプルはイカナゴ船びき網で混獲された浮遊性のヨコエビ類。右欄の魚類に捕食されるヨコエビは、スガメソコエビ科などの海底に棲息する種類。	アイナメ、ウスメバル、シロメバル、ババガレイ、ムシガレイ等15魚種。
エビジャコ類		ごく沿岸から100m以深の比較的沖合まで棲息する底生性甲殻類の一種。	コモンカスベ、ホウボウ、ニベ、カナガシラ等18魚種。
キシエビ		沿岸域に棲息する小型のエビ類。	コモンカスベ、ホウボウ、アイナメ、マガレイ等18魚種。
サルエビ		沿岸域に棲息する全長10cm前後のエビ類の一種。食用としても利用される。	コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、ホウボウの4魚種。
サメハダヘイケガニ		沿岸域に棲息する小型のカニ類。甲羅に貝殻を背負う習性がある。	コモンカスベ、ホシザメ、エゾイソアイナメ等8魚種。
イボイチョウガニ		水深100m前後の沖合に棲息する甲長1cm程度の小型のカニ類。	アイナメ、コモンカスベ、エゾイソアイナメ、ムシガレイ等14魚種。アイナメ、コモンカスベでは、このカニを主餌料としている個体が最も多く観察された。

餌生物の種名		説明	餌とする魚種 (緊急時モニタリング検査サンプルの胃から出現した魚種)
ヒラコブシ		沿岸域に棲息する甲長1cm程度の小型のカニ類。	ショウサイフグ、コモンカスベ、ヒガンフグ、エゾイソアイナメの4魚種。
ヒラツメガニ	(写真なし)	サンプルは甲幅7~8cm前後。福島県では浅海域に分布し、食用にもなる。	緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。
ケブカエンコウガニ		サンプルは甲幅2~4cm前後。福島県では水深100m前後で採捕される。近縁種のエンコウガニも同水深帯で見られる。	アイナメ、ムシガレイ、ユメカサゴ、ホシザメの4魚種。
マメヘイケガニ		サンプルは甲幅10mm前後。日本周辺の50~300m深程度の海底に棲息する。	アイナメ、コモンカスベ、ニベの3魚種。
ヤドカリ類		サンプルは沿岸域に棲息するオホツクホンヤドカリ及びイガグリホンヤドカリが主体。	アイナメ、ムシガレイ等6魚種。
カタクチイワシ		サンプルは4cm前後の稚魚(通称カエリ)及び10cm以上の成魚(通称セグロ)。仔魚は「しらす干し」、成魚は「煮干し」等として食用にもなる。	ヒラメ、カガミダイ、スズキ、マアナゴ、コモンカスベ、マダラ等21魚種。ヒラメ、スズキでは主餌料。
マアジ	(写真なし)	サンプルは3~5cm前後の稚魚。	キアンコウ、ヒラメ等6魚種。
エゾイソアイナメ		サンプルは全長10cm未満の稚魚(写真は成魚)。本州中部以北に多く分布し、稚魚はオキアミ類を主餌料とし、サイズが大きくなるにつれて小型のカニやヤドカリ等の甲殻類を食べる割合が高くなる。食用にもなる。	アイナメ、マアナゴ、マダラ、マトウダイの4魚種。



餌生物の種名		説明	餌とする魚種 (緊急時モニタリング検査サンプルの胃から出現した魚種)
ヒメジ	(写真なし)	サンプルは全長10cm前後。成魚は全長20cmほどになる。端脚類、エビなどの小型甲殻類食性。主に暖海域に分布し、食用にもなる。	緊急時モニタリング検査のサンプルからは出現しなかったが、ヒメジはヒラメで確認される等、魚食性魚種の餌料であると考えられる。  ※緊急時モニタリング検査のサンプルでは、胃内容物から魚類が出現したものの、消化が進んでおり種の同定ができなかったものが多い。消化物を含め魚類が出現した魚種数は41魚種に上る(2011.4.22～2011.12.19の検体)。
サツパ	(写真なし)	サンプルは全長5cm前後。成魚は全長20cmほどになる。プランクトン食性。東北地方以南に分布し、食用にもなる。	
ニベ・シログチ	(写真なし)	サンプルは5cm前後の稚魚。成魚は40cm前後になる。環形動物、甲殻類食性。東北地方以南に分布し、食用にもなる。	
チダイ		サンプルは3～5cm前後の稚魚。成魚は40cmほどになる。北海道南部以南に分布し、食用にもなる。	(同上)
ネズツポ科.spp		サンプルは5cm前後。福島県沿岸には複数種のネズツポ科が分布しており、今回の検体も複数種が混じる。ネズツポ科のネズミゴチ、トビヌメリ、セトヌメリは北海道南部以南に広く分布し、天ぷらや唐揚げで食用にもなる。	コモンカスベ、カンパチの2魚種。
タマガンゾウビラメ		サンプルは8cm前後。成魚は15cmほどになり、北海道南部から南シナ海に分布し、食用にもなる。	キアンコウの1魚種。
サラサガジ	(写真なし)	サンプルは10～15cm前後。福島県では水深10m程度の浅海域から100m深まで分布する。	アイナメ、マダラ、マアナゴ、ケムシカジカ、オオクチイシナギの5魚種。
マツカジカ	(写真なし)	サンプルは全長5cm前後。福島県では水深10m程度の浅海域から100m深まで分布する。	アイナメ、マダラ、ケムシカジカの3魚種。
ヒトデ	(写真なし)	サンプルは幅長(うでの長さ)5cm程度のものが主体。福島県沿岸ではごく沿岸～水深100m程度まで広く分布する。	緊急時モニタリング検査のサンプルからは、ヒトデ及びビスナヒトデは出現しなかったが、同じ棘皮動物のクモヒトデ類は沖合性異体類(ミギガレイやサメガレイなど)などでみられる。

餌生物の種名	説明	餌とする魚種 (緊急時モニタリング検査サンプルの胃から出現した魚種)
スナヒトデ	 <p>サンプルは幅長(うでの長さ)3~7cm程度のものが主体。福島県沿岸ではごく沿岸~水深100m程度まで広く分布する。</p>	(同上)
クモヒトデ類	 <p>福島県沖では、水深100m前後より深い海域で、キタクシノハクモヒトデ、アカハコクモヒトデ等が出現する。</p>	アカガレイ、サメガレイ、マガレイ、ミギガレイ等11魚種。
ブンブク類	 <p>歪形ウニの一種。福島県沖では、浅海域~水深100m前後の海域でオカメブンブク、キツネブンブクが出現し、それより深い海域ではホンブンブクが主に出現する。腸管内は砂泥がみられる。</p>	マガレイ、ヒガンフグ、ショウサイフグの3魚種。
ツガルウニ	(写真なし)	北日本に分布。福島県沖では、水深50m前後に分布するウニ類の一種。細砂~粗砂帯でよくみられる。通常食用にしない。  緊急時モニタリング検査のサンプルから出現は確認されていない。